

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

●この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、△注意の表示によってお知らせしています。

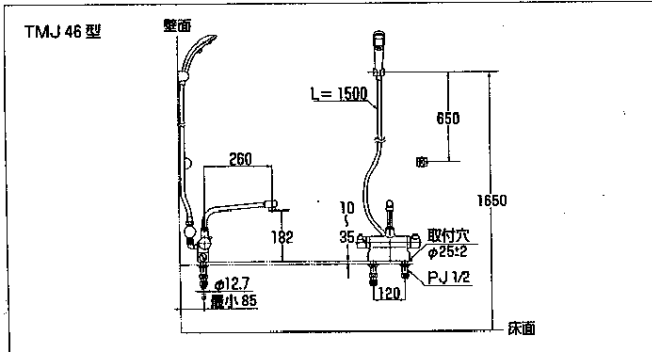
△注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△注意

- (1)湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。
- (2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

完 成 図



※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

使 用 条 件

1. 使用水圧

- (1)瞬間型給湯機と組合せる場合
- 給水圧力
- 最低必要水圧… (下表参照)
 - 最高圧力… 0.75 MPa

器具入ロ部における最低必要水圧 (MPa) []は湯側プッシュを外した場合

給湯機タイプ		最低必要水圧
		クリックシャワー
能力手動切替タイプ	12号	0.15{0.12}
	TOTO ハイカスタム	
比例制御タイプ	μ16	0.13{0.10}
	μ20	
	TOTO ハイトリコン	
	μ24	
TOTO ハイコマンド	S16	0.14{0.11}
	S20	
	Gμ24	
TOTO ハイアクティ	32	0.13{0.10}
40		

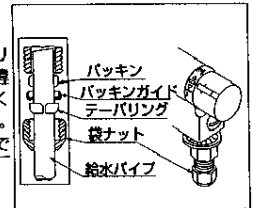
上記の最低必要水圧は以下の条件を設定して算出しています。

<設定条件>

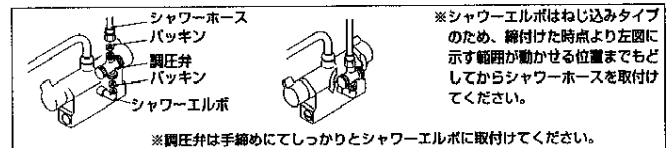
- 切替ハンドル全開
 - シャワー吐水温度：42℃
 - 給湯配管長さ：5m
- a) 能力手動切替タイプの場合
- 給湯機温度調節は最高温に設定
 - 水温の高い(25℃)夏期に着火させることを想定
 - ※能力手動切替タイプで水温が高く着火しにくい場合は、能力を小さく切替えると着火しやすくなります。
- b) 比例制御タイプの場合
- 給湯温度は60℃に設定
 - 水温の低い(5℃)冬期に約7L/minの吐水流量を確保するのに必要な圧力とする。
- (2)貯湯式給湯機をお使いになる場合は、減圧弁の設定圧力が0.07 MPa以上のものにてご使用ください。
- ※給水圧力が0.75 MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2 MPa程度に減圧してください。
- ただし、給湯圧力は給水圧力より高くないよう設定してください。
- 給湯温度は使用する温度より10℃以上高くしてください。
 - 給湯に蒸気を使用しないでください。
 - 湯・水を逆配管しないでください。
なお、給湯機からの給湯管は抵抗を少なくするため最短距離で配管してください。
配管後は必ず保温材を巻いてください。
 - シャワーホース接続のため、本体は壁面より85mm以上のスペースを確保して取付けてください。
 - 取付け後の保守点検ができるように必ず「点検口」と「止水栓」を設けてください。

器 具 の 取 付 け

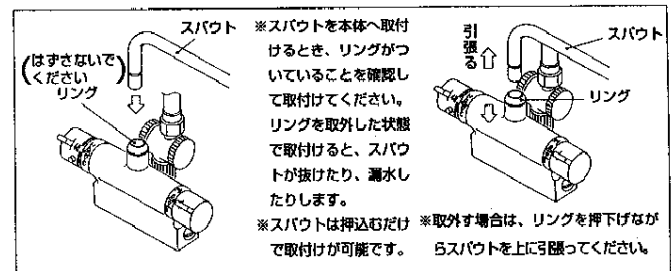
- 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
- プッシュの取付け
この製品には湯側にプッシュが入っています。器具を取付ける前に同梱の注意札をお読みください。
- 差込接続方法
差込み給水・給湯パイプに袋ナットを入れ、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順番・向きを間違えないように接続してください。袋ナットは手で強くねじ込んだ後、さらに一回転以上ねじ込んでください。
※湯側にパイプを差込む場合は付属の接手に差込んでください。



- シャワーホースの取付け
シャワーエルボに調圧弁、シャワーホースを下図のように取付けてください。

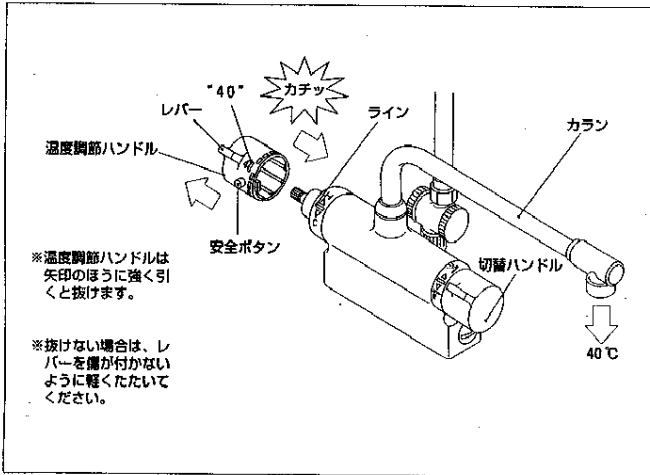


- スパウトの取付け
同梱されたスパウトを下図のように奥まで差込み、取付けてください。スパウトを取外す場合はスパウト取付部のリングを押下しながら取外してください。



取付後の調整

- ストレーナの掃除
ストレーナが詰ると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯しか出なくなったりするなど十分な機能が発揮されなくなります。器具取付後は、必ずストレーナを掃除してください。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご指導ください。
- 温度調節
工場で温度調節をしていますが、取付現場の圧力状況などによって、目盛どりの吐水温度にならない場合があります。その場合は次の要領で調節してください。調節する前に次のことを確かめてください。
●ストレーナのごみづまりはないか。
●常用給湯温度(50℃以上)の湯がきているか。
調節要領
(1) 切替ハンドルを回してカランより吐水させ、温度調節ハンドルを目盛に關係なく40℃の湯が出る位置まで回してください。
(2) 温度調節ハンドルが回らないように注意して温度調節ハンドルを抜き取ってください。
(3) 目盛の“40”の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルを“カチッ”と音がするまで押込んでください。



お手入れ

- 器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。
- ふだんは柔らかな布でふき、ときどきシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分ご注意ください。
 - 汚れがひどいときには適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布でふきとった後水洗いしてください。
 - クレンザー・みがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
 - 酸性洗剤はめっきを侵すため使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

寒冷地の水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

<水抜手順>

- 水抜き前にシャワーから水を出し、シャワー開閉ボタンが開の状態になっていることを確かめてください。
- 切替ハンドルをカラン側(手前)に回してください。
- 水抜コックすべてを開いてください。
- 温度調節ハンドルを“H”側いっぱいに戻し、カランから水が出なくなってからさらにハンドル“C”側いっぱいに戻してください。
- カランから水が出なくなったら切替ハンドルをシャワー側に回してください。
- ホースの水を抜きシャワーヘッドを振って中の水を抜いてから床においてください。

分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行ってください。

3. 温度調節はよいか

現象	点検項目
流量が少ない	2
水が止まらない	1
高温しか出ない	2・3・4
低温しか出ない	2・3・4
目盛どりの湯が出ない	2・3・4

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

4. 水側・湯側シート部にこみづまりはないか

2. こみづまりはないか ストレーナ

※切替ハンドルを取付るときは、ラインにハンドルのレバーを合わせて“カチッ”と音がするまで押込んでください。(必ず切替ユニットのカット面と、クリック板パネを合わせておくこと。)

1. シートにこみかみはないか

※切替ユニットを分解するときは、ラインにハンドルのレバーを合わせて“カチッ”と音がするまで押込んでください。(必ず切替ユニットのカット面と、クリック板パネを合わせておくこと。)

※ナットを外すときは、クリック板パネに当たらないように若干浮かせて外してください。

※スペーサー・ナット取外し要領
※スペーサーが外れないときは切欠き部にドライバーを差込んで外してください。

寒冷地用
水抜栓
止めピン
水抜栓

あらかじめスピンドルのカット面を上に向けてください。

再生紙を使用しています。

※付属の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しくたさい。

〒111-0041 東京都台東区上野4-1-1 株式会社パナソニック